

# 草津市の総合計画について



平成30年12月

草津市 総合政策部 企画調整課

# 総合計画とは

- ・ 草津市自治体基本条例に基づいて策定する、草津市の全ての計画の基本となる市政運営の最上位計画
- ・ 自治体運営のかじ取りとして、重要な役割を果たす計画であるため、市民との協働の視点に立ち、策定段階から市民参加をいただき策定

## 【草津市自治体基本条例】（抜粋）

第13条 市は、市政運営の最上位の計画として市民の参加を得て総合計画を策定し、総合的かつ計画的に市政を運営しなければならない。

# 草津市の総合計画

## 『第1次～第5次草津市総合（開発）計画』

### ◆ 第1次草津市総合開発計画【昭和45（1970）年度～昭和55（1980）年度 11年間】

「調和のとれた10万都市づくり」

- (1) 市民のための市政を高めるために
- (2) さわやかな明るいまちづくりのために
- (3) 教育と文化を高めるために
- (4) 豊かな近代都市づくりのために

### ◆ 第2次草津市総合開発計画【昭和56（1981）年度～平成2（1990）年度 10年間】

「活力ある調和のとれた 市民都市をめざして」

- (1) 人間性を尊重するまち
- (2) 自然の美しさと生活環境を大切にすまち
- (3) 歴史と伝統を大切にすまち
- (4) 活力を創造するまち

### ◆ 第3次草津市総合計画（ハイプラン21）【平成3（1991）年度～平成10（1998）年度 8年間】

びわ湖の感動都市「活力と魅力あふれる生活文化創造のまち」

- (1) 人にやさしい生涯健康のまち
- (2) 感性に満ちた草津人のまち
- (3) 人が輝き、安心して暮らせるまち
- (4) 豊かな活力を実感できるまち
- (5) 快適な都市環境を創造するまち

### ◆ 第4次草津市総合計画（くさつ2010ビジョン）

【平成11（1999）年度～平成21（2009）年度 11年間】

「パートナーシップで築く 人と環境にやさしい 淡海に輝く 出会いの都市」

- (1) 未来を育む人間都市づくり
- (2) 安全で快適な環境都市づくり
- (3) 淡海に輝く活力都市づくり

### ◆ 第5次草津市総合計画【平成22（2010）年度～平成32（2020）年度 11年間】

「出会いが織りなすふるさと“元気”と“うるおい”のあるまち草津」

- (1) 「人」が輝くまちへ
- (2) 「安心」が得られるまちへ
- (3) 「心地よさ」が感じられるまちへ
- (4) 「活気」があふれるまちへ

# 草津市のまちづくりの歩みと総合計画【第1次】

昭和29年10月 草津市誕生 人口 32,152人

草津町・志津村・老上村・山田村・笠縫村・常盤村の6町村が合併

昭和31年 9月 栗東町から渋川地区を編入 人口 33,803人

昭和42年 4月 国鉄草津駅(現駅舎)完成

昭和42年 5月 草津市民憲章制定

昭和44年 4月 草津宿場まつり開催



## ◆ 第1次草津市総合開発計画【昭和45（1970）年度～昭和55（1980）年度 11年間】

「調和のとれた10万都市づくり」

- (1) 市民のための市政を高めるために
- (3) 教育と文化を高めるために

- (2) さわやかな明るいまちづくりのために
- (4) 豊かな近代都市づくりのために

昭和45年 3月 国鉄草津・京都間複々線化完成

昭和46年 8月 人口5万人突破

昭和48年 7月 学校給食センター完成

昭和52年 4月 清掃工場操業開始

昭和52年 8月 人口7万人突破

昭和53年 4月 市の一般会計が100億円を超える

昭和56年 1月 市の木「キンモクセイ」、市の花「アオバナ」制定



# 草津市のまちづくりの歩みと総合計画【第2次】

## ◆ 第2次草津市総合開発計画【昭和56（1981）年度～平成2（1990）年度 10年間】

「活力ある調和のとれた 市民都市をめざして」

- (1) 人間性を尊重するまち
- (2) 自然の美しさと生活環境を大切にするまち
- (3) 歴史と伝統を大切にするまち
- (4) 活力を創造するまち

昭和56年 8月 草津市総合体育館開館

昭和57年 3月 人口8万人突破

昭和57年10月 香川県観音寺市と姉妹提携

昭和58年 7月 市立図書館開館

昭和63年 7月 人口9万人突破、ログハ公園プール完成

昭和63年10月 「ゆたかな草津 人権と平和を守る都市宣言」決議



銭形砂絵(香川県観音寺市)



# 草津市のまちづくりの歩みと総合計画【第3次】

## ◆ 第3次草津市総合計画（ハイプラン21）【平成3（1991）年度～平成10（1998）年度 8年間】

びわ湖の感動都市「活力と魅力あふれる生活文化創造のまち」

- (1) 人にやさしい生涯健康のまち
- (2) 感性に満ちた草津人のまち
- (3) 人が輝き、安心して暮らせるまち
- (4) 豊かな活力を実感できるまち
- (5) 快適な都市環境を創造するまち

平成 4年 5月 新庁舎で業務開始

平成 6年 3月 立命館大学びわこ・くさつキャンパス開学

平成 6年 9月 JR南草津駅開業

平成 6年 9月 長寿の郷「ロクハ荘」開館

平成 7年 4月 UNEP国際環境技術センターオープン

平成 7年 6月 人口10万人突破

平成 8年 4月 史跡草津宿本陣 一般公開

平成 8年 7月 水生植物公園みずの森オープン

平成 8年10月 琵琶湖博物館オープン

平成 9年 9月 草津町と友好交流協定締結

平成 9年12月 総人口で県内第2の都市へ



# 草津市のまちづくりの歩みと総合計画【第4次】

## ◆ 第4次草津市総合計画（くさつ2010ビジョン）

【平成11（1999）年度～平成21（2009）年度 11年間】

「パートナーシップで築く 人と環境にやさしい 淡海に輝く 出会いの都市」

(1) 未来を育む人間都市づくり

(2) 安全で快適な環境都市づくり

(3) 淡海に輝く活力都市づくり

平成11年 9月 人口11万人突破

平成12年11月 地下道路開通

平成13年 4月 なごみの郷オープン

平成13年 7月 くさつ夢風車完成

平成14年 6月 新草津川全川通水

平成16年 9月 芦浦観音寺が国史跡指定

平成17年 3月 名神草津田上IC開通

平成18年 4月 小児救急医療センター開設

平成20年 2月 第2名神開通

平成21年 5月 人口12万人突破



# 草津市のまちづくりの歩みと総合計画【第5次】

## ◆ 第5次草津市総合計画【平成22（2010）年度～平成32（2020）年度 11年間】

「出会いが織りなすふるさと“元気”と“うるおい”のあるまち草津」

- (1) 「人」が輝くまちへ
- (2) 「安心」が得られるまちへ
- (3) 「心地よさ」が感じられるまちへ
- (4) 「活気」があふれるまちへ

平成23年 3月 JR南草津駅新快速停車

平成23年 6月 草津市自治体基本条例制定

平成26年 8月 まちづくり協議会を認定

平成26年11月 福島県伊達市と友好交流協定締結

平成27年 9月 人口13万人突破

平成28年 8月 健幸都市宣言

平成28年10月 アーバンデザインセンターびわこくさつ(UDCBK)開設

平成29年 4月 草津川跡地公園ai彩ひろば(区間2)・de愛ひろば(区間5)供用開始

～

平成33年 3月

